

健康 進取 敬愛

# 北中だより

文責：三田 康弘

生徒の皆さんへ

## 何にでも応用できる「ハインリッヒの法則」!!

突然ですが、皆さんは「ハインリッヒの法則」というのを聞いたことがありますか。

この法則は、ハーバート・ウィリアム・ハインリッヒというアメリカ人が考えつけた法則です。彼は損害保険会社の技術・調査部の副部長として仕事をしていました。彼がある工場で発生した労働災害500件を統計学的に調べて、計算していたときのことで、大きな「重傷」以上の災害が1件起こる前には、約29件の「軽傷」を伴う軽微な事故・災害が起きていて、その前には、約300件もの「ヒヤリ・ハット(事故には至らなかったもののヒヤリとした、ハットとした事例)」が起きていたことを発見したのです。そして、同時に、彼は「不安全な行動」や「不安全な状態」を防げば、実に「労働災害の98%は予防が可能である」ことも見つけました。

簡単に言えば、裏の図のように、命に関わるような重大事故や災害を起こす前には、小さな事故や災害が29回近くは起こっていて、ヒヤリ・ハットを感じる場面が300回近くあったはずだということです。ですから、

ヒヤリ・ハットの段階で、やり方を変えるとか、何らかの工夫や改善を施すとかの対策を講じておけば、大きな災害や事故は防げるはずだ。

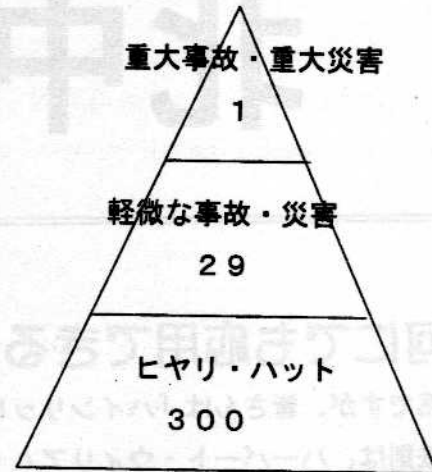
と言うのです。

皆さんの一番身近な例が交通事故だと思います。大きな交通事故に遭う前には、本人がヒヤリ・ハットした場面が沢山あったはずなのです。その人の自転車の乗り方や交通ルールの遵守の仕方に何らかの問題があったわけです。その「危なかったなあ。」と言うヒヤリ・ハットを体験したときに、自分の行動を反省して、改善しておけば、大きな事故にはつながらないのです。もち

ろん、世の中にはどうしても防ぎようのない不慮の事故というものもあります。しかし、本人の注意一つで事前に防げるものが沢山あります。それを教えてくれているのが、「ハインリッヒの法則」です。

この「ハインリッヒの法則」は、事故をなくすことだけでなく、私はあらゆることに応用できると考えています。

例えば、部活動の試合の場面で大きなミスをしたくないようにするためには、まずは、日々の練習の中での小さな失敗を減らし、繰り返し練習をすること。また、学期末・学力テストのような大きなテストでミスをしたくないようにするためには、いつものミニテスト、または日々の学習場面での自分のケアレスミスが減らすように勉強すること。これらはみんな「ハインリッヒの法則」から見ても、正しいやり方なのです。



重大な失敗やミスをなくすためには、日々の凡ミスをなくすこと。そのためには、日々の小さな練習や学習をおろそかにしないこと。それはまさに当たり前のことを徹底して行う「凡事徹底」だと思います。

## 1, 2年の金賞クラスは小学校へ 3年の金賞クラス・吹奏楽部はエアリスへ

11月9日(月)には1年1組が太田東小学校へ、11月10日(火)には2年2組が韮川西小学校へ出向き、それぞれの体育館で金賞の歌声を響かせました。「すごくきれいなハーモニーでした。」「どうすれば、あんなに大きく素敵なお歌になるのですか。」等の感想が小学生達から聞かれました。

また、同じく10日(火)には太田市小中学校音楽発表会「中学校の部」が行われ、本校からは金賞を受賞した3年3組と吹奏楽部が出場しました。3年3組は「大地讃頌」と「走る川」の二曲を澄み切った歌声でエアリスホールいっぱい響き渡らせ、社教センターでの感動を再現させました。また、吹奏楽部の生徒達は強戸中、西中、藪塚本町中と合同チームを組み、「レ・ミゼラブルより」と「学園天国」を演奏し、会場から大きな手拍子と拍手をいただきました。